

安 全 宣 言

今年で92回目となる全国安全週間は、昭和3年に初めて実施されて以来、「人命尊重」という崇高な理念の下、「労働災害を防止するために産業界での自主的活動の推進と、職場での安全に対する意識を高め、安全を維持する活動の定着を図ること」を目的に、一度も中断することなく続けられています。

この間、事業場では、労使が協調して労働災害防止対策が展開されてきました。この努力により労働災害は長期的には減少しているが、平成30年の労働災害については、「死亡災害」は前年を下回る見込みですが、「休業4日以上之死傷災害」は3年連続で増加しております。

また、「13次労働災害防止計画」が、平成30年度を初年度として新たに展開されており、それぞれの事業所で一人の被災者も出さないという基本理念の下、日々の仕事が安全で健康的なものとなるよう、不断の努力が必要であります。

このような状況を踏まえ、更なる労働災害の減少を図ることを決意して、我々組合員一同が協力をし、マネジメントシステムの基本をなす「計画(Plan)・実施(Do)・評価(Check)・改善(Act)」の一連の過程を確立し本年度のスローガンである、

「新たな時代に、PDCAみんなで築こう、ゼロ災職場」

を基本に、次の3つの事項を重点的に実施します。

1. 建設工事に従事する作業者の安全衛生教育等の徹底。
2. 作業者の安全意識の高揚。
3. 指差し呼称を徹底し、より安全性の高い措置の実施。

以上、三つの事項の徹底を図り、全会員一丸となって労働災害撲滅を期する事をここに宣言する。

令和 元年 8月7日

富 山 県 空 調 衛 生 工 事 協 同 組 合

防 災 ・ 安 全 委 員 長 吉 枝 貴 之